

「*Choju*」だより

株式会社エース・E&L
代表取締役社長 津田 博通

集音器「*Choju*」をご愛好いただき、誠に有難うございます。2016年11月より発売を開始致しました「*Choju*」は遅い歩みながら着実に一步一步前進しております。
約11ヶ月の販売活動で巡り合った、嬉しいお話や失敗談を皆様にご紹介致します。

1. 「*Choju*」が神奈川工業技術開発大賞で奨励賞を受賞

工業技術開発大賞は神奈川県が1984年に中堅、中小企業を活性化する為に創設しました。大賞(1社)、ビジネス賞(2社)、奨励賞(3社)が10月23日に神奈川県庁で黒岩知事から表彰されます。最終選考に残ったのは25社でこの中から選出されました。

「*Choju*」の受賞理由は「人の為に役立ち、社会への貢献度が高い」という事です。
開発主旨が理解され表彰される事は、大変名誉な事です。

2. 「*Choju*」の今後の開発テーマ

- 2,1. 「*Choju*」とスマホを無線で接続して電話ができる機能を追加。機能を追加する事で遠距離の家族と電話ができます。
- 2,2. 「*Choju*」とテレビの音を無線で接続して、テレビを家族に迷惑が掛からない音量に設定できる。家族みんなでテレビが見れて家族に平和が戻ります。
- 2,3. 老人ホーム及び病院で使用するベッドに「*Choju*」をセットし、寝たきりの方がテレビと有線で接続して、周りに迷惑を掛けずにテレビを見られるコントロールボックスを設置致します。

3. 老人ホームで寝たきりの92歳のおばあさまが「*Choju*」を外したお話です。

Vol.02の続きです。92歳のおばあさまはその後、「*Choju*」を外してテレビを見て話もできる様になりました。この改善は添付資料の「老友新聞」の記事を読んで頂きたいと思います。耳元で大声を出しても反応のなかったおばあさまに何故聞こえが戻ったのか本当に不思議な事です。生きがいを見つけ、楽しい思いが脳を刺激して聞こえが戻ったと考えられます。

私の知人が言った言葉「耳が聞こえない人は、孤独になる」の反対の刺激を与えれば人は楽しい人生を送り、周りの人達と会話を楽しむ事が可能です。

4. 盛岡の女性のお話です。

Vol.02の続きです。この方は、音が正常に聞こえても言葉が判別できないという難解な問題を背負っています。言語聴覚士という難聴の人達がお世話になる、リハビリテーションが病院内にあります。この組織の勉強会に参加し「*Choju*」を紹介させていただきました。また、この組織に大学の先生がおり色々相談をさせていただきました。しかし、この病院の耳鼻科の先生等にもご相談されたそうですが、未だ解決策は見つかっておりません。

5. 販売活動

街の電気屋さんの組合の『電機商業組合』の神奈川県エリア324店舗、東京都エリア1,200店舗、埼玉県エリア430店舗が動き始めました。皆様のお近くの電気屋さんをご紹介下さい。